

都祁散策(貝那木山城ハイキング)コース

スタート

①都祁白石町 都祁交流センター

徒歩約15分
約700m

日時：平成28年10月22日(土)

9時30分～15時

公益財団法人 奈良市生涯学習財団
都祁公民館

全行程約7.7km
「大和の高原文化をのんびり歩こう！」

②国津神社(白石)

由来：鬮鷄国造が置かれていた、古代ツゲ国の中心地、つげ平野の東方・水湧庄の中央丘陵・字神子尻に大きな白い石があり、古代信仰を集めていた。国つ神として崇敬せられ、社殿を建立、国津大明神と称せられた。
たたずまい：神殿背後の神木が実に似合う。境内はすっきりと手入れされている。白い石への執着があるようで、それほど大きくない石だが、祀られている。



国津神社(白石)境内

ゴール 都祁交流センター

徒歩30分
約2.0km

③雄神神社

由来：三輪さんの奥の院ともいわれ、社殿はなく山を神体とする原始的自然崇拜の信仰形態を今日に伝えている。祭神は出雲健男命。境内には鳥居と拝所、御供所と参籠所がある。
たたずまい：雄神山西麓に鳥居と拝殿があるが、その線は雄神山の頂上に当たっていない。南側にずれている。これは三輪山を神体山とする大神神社と同じずれかたである。

徒歩13分
約600m

⑤興善寺

融通派本山平野大念仏寺の末寺で、本尊は阿弥陀如来。当寺は火災にあい記録類を焼失しているが、寺伝によると天正年間(1573~92)に、道音により開基されたといわれる。



興善寺(白石)

約2.6km
徒歩 1時間
後半、600m
急な坂道



雄神神社境内



拝殿の「金銀銅鉄」の扁額

約1.1km
約30分
初め急な下り坂

④貝那木山城(通称 城山 標高597m)

都祁の里にある貝那木山城は、天文年間(1532-1555)に多田延実によって築かれた城郭であり、大和高原(都祁の里)の四季の景観を楽しむことができます。
多田氏は、鎌倉時代に多田源氏の一族が大和多田庄に移り、山内衆随一の勢力を築いた。多田氏は、室町末期から戦国時代初頭にかけて、勢力拡大の過程で吐山城主吐山氏と争い、吐山氏を圧倒して都祁郷一帯を多田氏が制圧した。



貝那木山城の遠望(6月)

昼食
休憩



山頂からの眺め(都祁野を一望に見渡せる)